

子育て安心バリアフリーマップの作成

子ども連れで利用できる施設があっても、経路がバリアフリー化されていないと、ベビーカーや子ども連れの自転車の移動は不安だとの声を聞く。区は安全なまちづくりを目指して、子育て関連施設や安心して移動できる経路、危険箇所や子育て情報など、利用する側の目線に立って、「子育て安心バリアフリーマップ」を作成してはどうか。

区長 ホームページの地図情報を活用して、バリアフリー情報、子育て情報を盛り込んだ、バリアフリーマップの作成を検討したい。

区長 今後、(仮称)地域子ども家庭支援センターを中心に、家庭、学校、地域団体、関係機関などが連携して、障害のある子どもに関する一貫した支援の体制づくりを検討する予定である。この中で、障害のある中高生の放課後の対応について、将来的には地域で展開できないか、設置場所や運営形態を含め可能性を追求していきたい。

障害のある中高生に放課後事業を

現在、学童クラブでは小学6年生までの障害のある子どもを受け入れているが、障害のある中高生についても、同



都営鷺の宮アパート

原則が破綻したが、区が負担すべき用地費などの総額はどう試算しているのか。

区長 ①当該地区のまちづくりへの提案や市場評価などについて、意見交換を行う。提案は、まちづくりのガイドライン策定の際に参考とした。②処分額は、19年度の公示地価により、国が決定する取得経費は、19年度予算案の中で示したい。

視覚・聴覚障害者のためのバリアフリーを推進せよ

区長 黄色の点字ブロックは、視力障害者を安全に目的地に誘導する標識であるが、中野駅周辺には敷石と同系色で設置されている場所がある。ブロックは、黄色を基本とすべきではないか。②聴覚障害者に文字で情報伝達ができる小型電光掲示板が、開発されている。公共施設へ設置するとともに、駅や病院などにも設置を働きかけてはどうか。

区長 ①黄色の点字ブロックを原則とし、今後も改善を行う予定である。中野通りの一部についても、都の第三建設事務所へ改善を申し入れる。②小型の電光掲示板も含め、誰にもわかりやすく、利用しやすい案内表示のあり方を検討したい。

開発者負担原則が破綻した警大等跡地問題を問う



日本共産党議員団 かせ 次郎

①区は、日本を代表する大手デベロッパー5社が参加する「警大等跡地地区事業企画勉強会」を設置したが、開発計画に参入する意向を持って勉強会に参加するのであれば、区が大手企業に便宜を図ったと見られかねない。勉強会の役割と目的は何か。②開発者負担の



点字ブロック

原則が破綻したが、区が負担すべき用地費などの総額はどう試算しているのか。

国土交通大臣は、中野三丁目マンションの建築確認に関する再審査請求を棄却した。「東京都建築安全条例第4条第2項に定められた火災の際

の建築物の安全確保に必要な前面道路の幅員6mの範囲とは、敷地に接する部分のみ確保されれば足りるというものではない」としている。しかし、区が、今年1月に定めた同第3項の基準は、幅員6m以上の道路から250m以内

にあれば良いとしており、裁判に反する。この認定基準は、破棄すべきではないか。

南部防災公園を整備し災害に強いまちづくりを

区長 裁判は、第4条第2項についての判断であり、第3項に基づく区の認定基準に影響は及ぼさない。基準を破棄する考えはない。

区長 東大附属中等教育学校一帯の広域避難場所機能を高めるには、同敷地内に防災公園の整備が欠かせないため、跡地取得に向け東京大学と協議している。現在、南台1・2丁目における国の密集事業の期間延長に向け検討しており、この補助事業の中で防災公園を整備していく。

自治体間競争の時代に政策能力の向上を

区長は、再選後の施政方針説明で、4年間の実績は、区議会、区民の理解と協力があつたからこそと述べているが、今後の4年間も、区民や団体の協力と参加を求めながら区

区政運営には、区民の理解と協力が不可欠である。自治基本条例や区民公益活動推進条例を制定し、参加と協働のしくみを構築できた。これらを有効に機能させ、区民と力を合わせて元気な中野を目指す。また、行財政基盤を強化し、目標と成果による区政経営を進め、区民により高い価値あるサービスが提供できる組織にしていく。

青少年の健全指導で希望の持てる社会を

区長 数々の事件の背景には、地域や家庭の養育力低下が指摘されている。子育てへの支援と共に、地域全体での環境づくりや、人間としてどうあるべきかという道徳観や価値観を社会全体で育むことが大切と考える。

杉山公園地下に駐輪場建設を

区内各駅には、合計で24カ所の駐輪場が設置されている。5月に新井薬師前駅に設置されたので、未設置の駅は新中野駅のみとなった。新中野駅周辺は、区が昨年定めた交通バリアフリー整備構想の重点

整備地区に位置付けられている。その構想の中には、駐輪場の整備も位置付けられており、最優先に取り組みべき課題である。放置自転車問題は、地域における安全や景観などの面で、日常生活の大きな課

他区に比べて遅れている。防災や交通安全、環境対策の面からも区民の理解を得ながら計画的に、かつ積極的に進めていくべきである。都は、青梅街道と中野通りが交差する杉山公園交差点の拡幅整備事業に着手している。この地域は、交通バリアフリー法に基づく重点整備地区であり、バリアフリーの基準に基づき整備されなければならない。①この事業の目的は何か。②用地取得の進捗状況はどうか。③具体的な工事の予定はどうか。

中野坂上駅の出入り口整備を進めよ

最近になって、東京メトロ中野坂上駅西側の駅舎開設に向け、動きが出てきた。本町二丁目側に入出口駅舎を新設することである。①区

は、整備内容やスケジュールについての情報を把握しているか。②中央二丁目側にも出入り口をつくるよう、協議を続けるべきではないか。



杉山公園交差点

自由民主党・民社クラブ きたごう 秀文

自由民主党・民社クラブ きたごう 秀文

自由民主党・民社クラブ 吉原 宏

自由民主党・民社クラブ 吉原 宏

自由民主党・民社クラブ いでい 良輔

自由民主党・民社クラブ いでい 良輔